

令和4年度 広島県ACP普及推進員活動報告

市町名	活動区分	実施日	場所	対象者										内容等			
				集会(会合)名称	人数	年代											
						20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上				
広島市	啓発	R4.5.27	Zoomによるオンライン研修	好縁会 研修会	17		●	●	●	●							<p>・対象者が福祉職員(各施設の管理者、施設長、看護師)で一度は耳にしたことがある方ばかりであった。しかしACP = 医療に特化したものと考えている方が多いためそうではないことを伝えて欲しいと要望あり。</p> <p>・研修時間は1時間と限られた構成として、まず、なぜ必要なのかから説明し、あくまでも決めておくことだけが重要ではないこと、価値観、人生観を共有しながら、今の生活に潤いを与えることをメインにお話した。</p> <p>・合間でyoutubeの動画などを利用しながらよりイメージしやすいよう努めた。当初、ACP="リヴィングウィル"のイメージが強かったようであったがそれだけに留まらないこと、「豊かな人生のために」は理解して頂けたことと思う。</p>
広島市	啓発	R4.5.28	広島県薬剤師会館	広島県女性薬剤師会	60			●	●	●	●						<p>・薬剤師に対して、ACPの基本的な考え方、要介護高齢者の事例、広島市専門職向け標準教材の紹介を行った。</p> <p>・薬剤師は主体的にACPに取り組み機会が少なく、医師やケアマネジャーからの情報を共有し、チームとしてACPに関わっていく必要がある。</p> <p>・標準教材の質問に、「支援チームとしてどのように関わるのか」等の項目を追記したい。</p>
広島市	啓発	R4.6.22	—	広島市南区社会福祉協議会 令和4年度 地区社会福祉協議会 会長・地域福祉推進員・事務担当者合同会議	47								●	●	●	<p>【内容】</p> <p>・地区社会福祉協議会で役員を務めている高齢者を対象に、講義形式で行った。</p> <p>・内容として、ACPの基本的な用語の説明や高齢者の終末期ケアの課題、ACPの手引き(改訂版)の説明、介護支援専門員として関わった事例紹介を行った。</p> <p>【気づき】</p> <p>・ACPという言葉は初めて聞く人ばかりであった。「終活」との区別がつかない者もいた。耳馴染みのない言葉が多いため、自分事として考えられるように事例を用いた講義を継続して行っていく必要がある。</p>	
広島市	啓発	R4.7.2	悠悠タウン 江波二本松 多目的スペース	えんがわかふえ	15								●	●	●	<p>【内容】</p> <p>1 ACPについての解説・講義 10分</p> <p>2 もしばなカード 45分</p> <p>3 あとがき 5分</p> <p>【気づき】</p> <p>令和2年度ACP普及推進員の研修資料より引用したPDFを見てACPがどのようなことなのかを講義を行った。また、話し合いをした場合とできなかった場合について例を挙げて説明を行い、人生会議の模擬としてもしばなカードを利用し自分の思いを整理し人に話すことを実際に体験する。体験したことで自身の思いを確認したうえで心づもりを記入してもらおうように促した。参加者からは心づもりが書きやすくなったこと、思いが分かったことが良かったとの声をもらった。</p>	
広島市	啓発	R4.8.12	基町中央集会所	金曜日カフェ	21		●	●	●				●	●	●	<p>【内容】</p> <p>1 私の心づもりを記入 10分</p> <p>2 ACPについての解説・講義 10分</p> <p>3 もしばなカード 50分</p> <p>4 あとがき 5分</p> <p>【気づき】</p> <p>最初に説明をせずに私の心づもりを記入してもらい、ACPについて説明をした。突然、心づもりを記入する事に戸惑いが見られた。その後、もしばなカードにて自身の思いや気持ちを整理し同じ班の人たちと話し合った。その後、記入した私の心づもりを見直してもらって自身の考えが整理できた後だったので記入し易くなったとの声が聞かれた。</p>	
広島市	啓発	R4.6.25	津村自治会館	いきいきサロン	20								●	●	●	<p>・まだACPについて考えられない、考えたくないという方もおられ、マイナスイメージをいだきやすいテーマから、これからの人生を豊かにしていくためのものであるということを理解して頂く難しさを強く感じた。</p> <p>・家族の在宅看取りを経験し、すでにACPについて家族と話し合いをされている方もおられ、少しずつACPが浸透しつつあることを感じた。</p>	
広島市	啓発	R4.7.23	津村自治会館	いきいきサロン	20								●	●	●	<p>・ACPという言葉は初めて聞かれたという方が多く、聞き慣れない言葉にとまどわれている方もおられた。高齢者の方も多く、その中で分かりやすい言葉で伝えていくというのが難しかった。</p> <p>・実際に私の心づもりを書いて頂く中で一緒に考えていくことはできたがそれがどのくらいご家族との共有につながっていくのかも知りたいと感じた。</p>	
広島市	啓発	R4.8.27	小規模多機能舟入会議室	舟入カフェ	7					●	●		●	●	●	<p>話し合いをした場合とできなかった場合について例を挙げて説明を行い、自分の気持ちや考えを整理、気づくためにもしばなカードを利用し人に話すことを実際に体験する。体験したことで自身の思いを確認したうえで心づもりを記入してもらおうように促した。参加者からは心づもりが書きやすくなったこと、思いが分かったことが良かったとの声をもらった。</p>	
広島市	啓発	R4.9.2	広島JR病院	医療・介護・民生委員による多職種連携研修会	26		●	●	●	●	●	●	●	●	●	<p>【内容】</p> <p>広島JR病院 緩和ケア内科 沖政誠治先生 講演「これからは、これまでを変えていく—より良い歩みのために—」</p> <p>【気づき】</p> <p>・歯科医、リハビリ専門職、介護支援専門員、民生委員など多職種に参加いただき、医師の話も分かりやすかったため、皆様より好評を頂いた。</p> <p>・緩和ケアの実際がとてよくわかり、寄り添うことや見捨てないことが大事であることがよく理解できた。</p> <p>・緩和ケアの話を中心としながらもACPの必要性について理解することができた。</p>	
広島市	啓発	R4.9.8	広島市白木公民館	元気じゃけん☆しらき白木地域包括支援センター	12		●							●		<p>【内容】</p> <p>ACPについて</p> <p>① ACPとは何か? ②なぜ必要か。③ACPの手法について</p> <p>② 動画視聴</p> <p>・もしばなゲーム(白木地域包括支援センター)</p> <p>【感想】</p> <p>・今回は地域の方に向けての啓発活動であった。</p> <p>・参加された方からは「何となく聞いたことがあるが、改めて考えさせられた。</p> <p>・家族に自分の気持ちを知ってもらいたい、またそれに対する家族の思いも聞いてみたい」との意見があった。</p> <p>・少数の参加ではあったが、その参加者には家族→友人・知人そしてかかりつけ医などに広がりをお願いし、さらに枝葉に分かれて普及していくことを期待する。</p>	
広島市	啓発	R4.9.22	広島市東区福祉センター 大会議室3階	東区ケアマネ自主勉強会	49		●	●	●	●	●					<p>【内容】</p> <p>ACP研修 ~無意識を意識に変える~</p> <p>広島JR病院 緩和ケア内科 沖政誠治先生 講演「これからは、これまでを変えていく—より良い歩みのために—」</p> <p>【気づき】</p> <p>・広島市東区のケアマネジャーに緩和ケア病棟の正しい知識と、終末期における当事者のこころ構えについて学んで頂いた。</p> <p>・講演の中でACPの必要性と正しい使い方、緩和ケア病棟の話をして頂き、認識が間違っていた等のアンケート結果もあった。</p> <p>・また東区医師会会長の挨拶を頂くことで、ケアマネジャーにACPを取り組んでもらえる動機づけとなったように思われる。</p>	

令和4年度 広島県ACP普及推進員活動報告

市町名	活動区分	実施日	場所	対象者										内容等					
				集会(会合)名称	人数	年代													
						20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上						
広島市	啓発	R4.9.15	悠悠タウン江波4階会議室	まちゼミ	8													● ●	自分の思いや将来の考えを人に話すことが出来て良かったと話す方の多い中で、一人自身の思いを家族がわかってきているのかどうかカードを見ながら確認していた。最終的にはわかってもらっていると思っていなくても確認はしないといけなくて話していた。なかなか最後の時をどう迎えるのかなど、話さなければいけないと思うがなかなか話せないなどの意見があった。今日を機会に話してみたいという方もおられた。
広島市	啓発	R4.4.25	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	2			●	●										・広島市立看護専門学校 第二看護科の学生2名に、ACPについての話をした。 ・ACPについて、「死が近づいたときに行うものではない。いざという時に不本意な思いをしないようにするためのものである」という認識に変わった。」自宅で家族に向けて、何気ない会話の中から話をしていく事も大切だと伝えた。
広島市	啓発	R4.5.13	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	3			●											・日本赤十字広島看護大学 看護学生4年生に対して、ACPについての話をする機会をもった。 ・医療職の親を持つ学生2名は、ACPについて家族と話し合う機会をもっており、親からその話をされたという事だった。 ・いろいろな考え方の人がいて、ACPについての話すら受け入れられない時もある事を伝えた。 ・今後、患者さんと向き合う中で、意向を聞き出していくことが大切だと学べて様子だった。
広島市	啓発	R4.6.3	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	3			●											・日本赤十字広島看護大学 看護学生4年生に対して、ACPについての話をする機会をもった。 ・医療職の親を持つ学生1名は、ACPについて家族と話し合う機会をもっており、親からその話をされた。 ・話すタイミングについては、入院時の生活環境が変わった時点で聞くことも大切だと伝えた。
広島市	啓発	R4.6.10	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	3			●											・県立広島看護大学 看護学生4年生に対して、ACPについての話をする機会をもった。 ・医療職の親を持つ学生2名は、ACPについて家族と話し合う機会をもっており、親からその話をされた。 ・実際、利用者と話すタイミングはいつなのか、等の質問があった。 ・訪問看護介入時には、利用者や家族の意向を確認していること。入院するときは、ACPについて話すタイミングになるのではないかと伝えた。
広島市	啓発	R4.6.14	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	3			●											・広島大学 看護学生4年生に対して、ACPについての話をする機会をもった。 ・医療職の親を持つ学生2名は、ACPについて家族と話し合う機会をもっており、親からその話をされた。 ・体調に変化があった時や、生活環境等が変わった時が聞きやすいタイミングだという事を伝えた。まだ、話をしたことがない学生については、家族が本来望んでいることは何なのかを、一度話してみることも大切である事を伝えた。
広島市	啓発	R4.7.11	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	3			●	●										・広島市立看護専門学校 第二看護科の学生3名に、私の心づもりを記載してもらい話をした。 ・「実際に記載すると難しい」「全部知っておいてほしい事だと思った」等の感想が聞かれた。 ・患者さんと話す前に、家族との何気ない話の中で、「自分はどう過ごしていきたいのか。」という意向を聞いていく事が大切であると伝えた。「もし、家族が・・・となった時に、自分は何も知らないから、対応に悩むと思う」と話す学生もいた。事前に話をしておくことの必要性について考える機会になったと考える。
広島市	啓発	R4.7.29	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	3			●											・県立広島看護大学 看護学生4年生に対して、私の心づもりを記載してもらい話をした。 ・医療職の親を持つ学生1名は、ACPについて家族と話し合う機会をもっており、親からその話をされた。 ・今後、仕事をしていく中で、「自宅でどう過ごしたいと望んでいるか。どのような医療を受けたいと望んでいるか」話す機会を持つことが個性のある支援にもつながると伝えた。
広島市	啓発	R4.10.26	オンライン(ZOOM対応)	古田圏域ACPケアマネ研修会	27														【内容】 ・ケアマネジャー向けの、実践で活かせるACPのスキルを学ぶ研修の2回シリーズの1回目。今回は、基本的なコミュニケーションスキルでACPを進めていくことを目的とした研修会を開催した。 ・講師に保健師でACPファシリテーターの油野初音氏。「ACPとは」について講義をした後、ブレイクアウトセッションでグループに分かれて、配役を決めて「反復」と「沈黙」を取り入れたロールプレイングを行った。後半は、デモロールプレイング2例を代表者が行った。 【気づき】 ・対応の仕方によっては本人の意向がうまく引き出せるということを理解できた参加者から言われていた。また、「これまでもACPの研修に参加はしてきたが、今回ロールプレイングをすることで、実践的な感覚が得られた。ついつい自分の物差しで話をしてしまっていた」という感想が数件あった。 ・参加者は専門職のケアマネジャーで、ACPについて一通りは知っている方ばかりで、実践できるスキルの習得を後方支援することの必要性を感じた。
広島市	啓発	R4.10.29	西区 田方上集会所	終活セミナー 第1回	23													● ●	・3回シリーズで開催している終活セミナーの1回目。 【内容】 ・前半は、訪問診療のコールメディカルクリニック広島の医師から「ACPが必要とされる社会の現状や問題点」「終末期には、どんな変化が現れるのか」「在宅療養における意思決定支援の課題」などの講義を受けた。 ・後半は、パワーポイントを活用して「ACPの手引き」の説明を行い、グループワークで(広島版)活き生きカードを行い、もしもの時について各自が語って頂く時間を設けた。 【気づき】 ・ACPについて知っている方は、1割程度。ほとんどの方は初めてだった。カードゲームは1回だけだったが、もっとゆっくり時間を取った方が、もしもの時についてじっくり考えることが出来るのかなと思った。自分の思いのピースを、日頃から話したり聞いたりすることが、ACPであるということを感じて頂けた研修だった。
広島市	啓発	R4.10.12	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	4			●											・日本赤十字広島看護大学 看護学生3年生に対して、ACPについての話をする機会を作った。 ・医療職の親を持つ学生3名は、ACPについて家族と話し合う機会をもっていた。 ・「もしも自分が・・・」と考えるながら心づもりを記載してもらった。 ・記載し、発表し合うことで「深刻な状態になった時には、伝えてほしくない」「自分がこんな考えを持っていたんだ」と自分の気持ち気づける機会になっていた。今後、患者さんと向き合う中で、1人1人違う考えをもって、丁寧に意向を聞き出していくことが大切だと学べて様子だった。
広島市	啓発	R4.11.2	広島県看護協会己斐センター	在宅におけるACP活用	3			●	●	●									・広島市立看護専門学校 第二看護科の学生3名に、私の心づもりを記載してもらい話をした。医療職の親を持つ学生は0名、1名が家族とACPについて話し合う機会をもっていた。 ・「実際に子育てしている学生が2人おり、今と数年後では気持ちが変わると思うと話があった。」「死が近づいたときに行うものではない。いざという時に不本意な思いをしないようにするための物である」という認識に変わった。」「入院した時が、生活に変化がありACPを行うのにも聞きやすい時期だ」という事を考える機会になった。」とまとめの時に話があった。

令和4年度 広島県ACP普及推進員活動報告

市町名	活動区分	実施日	場所	対象者										内容等							
				集会(会合)名称	人数	年代															
						20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上								
広島市	啓発	R4.11.4	広島県看護協会 己斐センター	在宅におけるACPの実践	3								●	●							<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者研修(セカンド)研修生3名に、在宅での実践の場でのACPIについての話をした。 ・急性期病院や回復期病院の副看護部長、師長へ話をした。 ・在宅で生活する中で、その人の意向が大切であること、入院時からの連携や退院時に必要な情報として活用していく事の重要性を再確認できた話があった。 ・実際、がん末期の人が記載した「心づもり」を病院側からサマリーと一緒に添付してもらった事例を伝えていった。 ・生活者として自宅で過ごす中で大切なことを改めて考える機会になったと感想があった。
広島市	啓発	R4.11.9	広島県看護協会 己斐センター	在宅におけるACPの実践	1									●							<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養移行人材養成研修生1名に、在宅でのACPIについての話をした後、急性期病院でのACPについて共有した。6年間循環器科に所属しており、「病状が徐々に進行する中で、患者本人は記載に躊躇しているが、主治医からは「心づもり」を早く記載するように急がされる場面もある。」との事だった。「死」が身近になった時には、step2は特に記載が難しい部分でもあるため、「ツールの1つとして「心づもり」を考えていく事も大切であることを伝えた。生活環境が変化した入院時が、ACPを行いやすい時期である事も共有し、実践していく事の重要性について双方が考える機会になった。状態が安定している時期に、在宅でサービス事業所が関わっている場合には、ACPについて確認できていることを病院側と共有していく事も大切だと改めて感じた。
広島市	啓発	R4.11.15	広島県看護協会 己斐センター	在宅におけるACP活用	3										●						<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字広島看護大学 看護学生3年生に対して、ACPIについての話をした。 ・医療職の親を持つ学生1名は、ACPについて家族と話し合う機会をもっていた。 ・「もしも自分が…」と考えながら心づもりを記載してもらった。 ・ステップ1では、記載している内容を読むことで自分の考えや大切にしたい事に気がかされた。健康な時なら「もしも」を想定して記載できるが、「死」が身近にある人は答えるのが難しいかもしれないという意見も出た。答えたくないという選択肢もあるという事を伝え、心づもりは変化していくものだという事も学べた様子だった。
広島市	啓発	R4.11.9	RCCラジオ「鹿見勇輔 福祉のラジオ」	RCCラジオ「鹿見勇輔 福祉のラジオ」	不特定多数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】 ・介護支援専門員としての看取りの実践事例を伝えた。 ・介護支援専門員がモニタリング訪問をしたら、ベッド上で意識不明になっていた末期肺癌の男性。抗がん剤治療や入院治療を拒否し続けていたこともあり、介護支援専門員として救急車を呼ぶかどうか悩む。結局、119番に連絡し、心肺蘇生は不要と伝えるが、助かる可能性のある命は救うという救急隊の使命を果たそうとする。 【気づき】 ・医療や介護サービスの専門職でACPIに取り組んでいても、救急隊の業務(判断)で延命治療が実施されることがある。今後は救急隊にもACPを普及させていかなければいけない。
広島市	啓発	R4.11.12	広島市南区民文化センタースタジオ(広島市南区比治山本町16番27号)	一般社団法人広島県介護支援専門員協会広島市南区ブロック講演会「大切な人に想いを届けるACP(人生会議)」	112										●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】 ・広島県民を対象に講演会形式で開催した。内容として、広島県ACP普及推進員の鹿見勇輔がACPの概要説明と事例報告、フリーアナウンサーの桑原おろ氏が「大切な人に想いを届けるACP(人生会議)」というテーマでコミュニケーションの回り方や表現力などの講演を行った。その後、鹿見と桑原氏がトークセッション形式で来場者からの質問に回答した。 【気づき】 ・「ACP」終活「遺言」などという言葉がわからない方がいたため、トークセッションで疑問点を確認することができた。 ・テレビやラジオで活躍しているアナウンサーを起用することにより、より身近にACPを知ってもらうことができた。 ・ACPを進める前に家族とのコミュニケーションを図る勇気が必要である。
広島市	啓発	R4.11.22	西区 地域福祉センター3階	西区 定期連絡会	43										●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】 ・「西区内主任ケアマネによるACPの普及推進について」西区内地域包括の主任ケアマネワーキングチームが講師となって開催した。 ・西区内包括職員対象にACPのアンケート調査を行い集計した結果報告 ・厚労省のACP向け動画の視聴 ・「ACP普及推進員の役割」についてppをもとに報告 ・グループワーク「ACPの普及啓発に関する為の人材育成について」 「研修の気づきについて」発表 ・まとめ、総評 【気づき】 ・アンケート結果から、包括職員のなかでも、ACPIについてはタイミングが必要であり、なかなか普及啓発することにハードルの高さを感じている。 ・ACPの普及啓発は、西区内で4名のACP普及啓発員が進めていく事になっているが、1名欠員し、普及啓発していくには人材の育成が必要である点を提言した。ACP普及啓発のため、行政と包括の担当者の必要性を少しでも理解してもらえたと思う。
広島市	啓発	R4.11.25	オンライン(ZOOM対応)	古田圏域ACPケアマネ研修会	21																<ul style="list-style-type: none"> 【内容】 ・ケアマネジャー向けの、実践で活かせるACPのスキルを学ぶ研修の2回シリーズの2回目。今回は、「ACP・意思決定支援に繋がるケアプランを立てよう」というテーマで開催した。 ・講師に保健師でACPファシリテーターの油野初音氏。10/26に開催した対話によるACPのロールプレイの復習、その後で「さんの事例をどうして、ACP(意思実現)の支援」を検討した。(本人・家族)(医療・介護)(地域)(福祉・行政・その他)を、十文字表に書き入れていき、グループ討議し発表をした。 【気づき】 ・参加したケアマネジャーからは、「本人の思い、代理人の思いを日頃から聴いておくことが必要であること、また思いのずれがあることもあるので、本人の返した言葉をしっかり書き留めておくことが必要である」という感想が数件あった。参加者は専門職のケアマネジャーで、ACPについて一通りは知っている方ばかりであるが、実際のプランに盛り込むことはなかなかハードルが高いようであった。今後は、ケアマネジャーが実践できるスキルの習得と、それを指導できる講師の必要性を感じた。
広島市	啓発	R4.12.2	庚午のおうち	人生会議(ACP)～考えてみよう私のACP～	20														●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの運営メンバーや地域の人16名と地域包括支援センター職員4名に ・啓発活動を行った。ACPIについて家族と話したことがある人は2人だった。 【内容】 ・広島県地域保健対策協議会が作成したパワーポイントを使用しながらACPについての話をし、軽度認知症のある人のACPを利用した事例を伝えた。その後、もしバナゲームを行い「自分が大切にしていること」を話し合った。最後に、私の心づもりについての説明を行った。 【気づき】 ・事例については、興味深く聞いていただいた。もしバナゲームでは、「自分では気づいていなかった気持ちに気付くことができた。」と話される人もいた。「代弁者を決めると、その人に負担がかかってしまうのでは？」「意思を残す事で、子どもたちが負担に思ってしまうのではないかと心配」という意見もあった。参加者の皆さん、それぞれが自分のこととして考えることができている様子だった。

令和4年度 広島県ACP普及推進員活動報告

市町名	活動区分	実施日	場所	対象者										内容等				
				集会(会合)名称	人数	年代												
						20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上					
広島市	啓発	R4.6.15(父木野) R4.7.19(仙養) R4.7.21(古川) R4.8.3(東油木) R4.8.30(丸山) R4.9.15(豊松) R4.9.21(西油木)	広島県看護協会訪問看護ステーション「ひびき」	訪問看護実習	15		●											・訪問看護の実習に来られた時に、Pポイントを活用して説明・啓発を行った。 【内容】 ・在宅看取りの事例を紹介 ・ACPについて説明 ・私の心づもりを実際に学生が記入 ・もしバナゲームを4～5名で行い、それぞれの価値観の違いを学ぶ 【気づき】学生の感想 ・学校内でもACPを学ぶが、看取りの事例を聞きながら考えることでよりACPの必要性等学びが深まった。 ・学生の祖父母が70～80歳代であるが、家族内で今後の話をしたことがなかった。帰宅したら話をしていきたいと思った。 ・もしバナゲームをすることで、良く知っている学生同士でも価値観を聞くことがなかったので、新たな気づきもあり1人1人違うことが良く分かった。
広島市	啓発	R4.10.28	広島市東区福祉センター 大会議室3階	医療と介護地域の多職種連携会議	59		●	●	●	●	●	●	●					【内容】 1 「ACPの普及啓発について」 2 「もしバナゲーム」をとらして、人生の最後にどう在りたいかを考える。 3 グループワーク 【気づき等】 ・もしバナゲームを多職種や地域住民と行うことで、それぞれの立場や職種からくる価値観の違いなどを共有できた。ゲームを通じて話をすることで、グループワークがしやすかった。 ・東区医師会と協働で開催したことで、医師を含む多くの医療関係者に参加してもらうことができた。
広島市	啓発	R5.1.13	唯信寺	いきいき健康サロン	13									●	●			・病気を抱えている方が「ACPの事は考えたくない」と話していたとサロンを手伝っている方から聞く事ができた。病気の心配がある方こそACPへの理解や普及が必要と思うので、もっと自分自身がACPを理解しわかりやすく説明できるようにしたいと思った。また、運営側からはコロナの感染が拡大している時に参加者同士で話をするのは配慮が足りないのではないかと声もいただいた。感染予防をしながらACPをわかりやすく楽しく考えられる様に講義内容も変化させないといけなと考えさせられました。
広島市	啓発	R5.3.2	己斐公民館 2階 研修室 会議室	広島市己斐・己斐上地域包括支援センター 令和4年度第3回医療と介護の連携に関する意見交換会	59		●	●	●	●				●				「私の心づもり～チームでつなげる思い～」 己斐・己斐上地域保健圏の民生委員、歯科医師、薬剤師、介護サービス事業所、施設サービス事業所等の職員が参加 広島県地域保健対策協議会が作成した資料を用いながらACPについて説明を行った。その後、90代の独居、心不全、認知症で入退院を繰り返し最期は施設入所し死去した事例について事例提供した。 グループワークでは、私の心づもりを実際に記載し、自分が大切にしたいと思っていることを1つグループの皆さんに伝えてもらった。 ACPについては、「初めて知った。」「何度でも話し合い考えを伝えていく事が大切だと感じた。」という意見や、グループワークを行うことで、自分にはない意見を知ることができたという感想も聞かれた。
広島市	啓発	R5.3.10	Zoomによる研修	尾道市介護支援専門員連絡協議会研修	47				●	●	●	●						・「看取り期におけるケアマネへの心構えと支援への助言・指導方法、ACPについて」 ・広島県地域保健対策協議会が作成した資料を用いながらACPについて説明を行った。その後、90代の独居、心不全、認知症で入退院を繰り返し最期は施設入所し死去した事例と、70代のがん末期で在宅看取りを行った事例の意思決定支援について事例提供し、グループワークを行った。 ・ACPについては、ケアマネが、どのタイミングで行っていくかを迷われている人もいた。施設ケアマネについては、施設内で望んでいた生活を送る事ができているか、考えていく機会になったとのコメントがみられた。
尾道市	啓発	R4.7.22	山波公民館	いきいきサロン山波	20									●	●	●		・ACPの普及推進活動の一環として、サロンでの出前出張講座にて、包括支援センターの説明・介護保険制度・ACPについて説明。内容としてはパンフレットの配布と、以下のメッセージを伝える。 ・こういう風に生きたい、自分の思っていることを人に伝えましょう ・もしものとき自分の代わりに伝えてくれる代弁者を決めること ・文書に残すことで、代弁者を守るようになること ・本人の権利を守るためでもあり、自分らしい生き方を貫くために活用してください
尾道市	啓発	R4.10.28	いきいきサロン久保	フレンド大宮	28									●	●			・ACPの普及推進活動の一環として、サロンでの出前出張講座にてACPについて説明。内容としてはACP～私の心づもり～の紙芝居・パンフレットの配布と、以下のメッセージを伝える。 ・こういう風に生きたい、自分の思っていることを人に伝えましょう ・もしものとき自分の代わりに伝えてくれる代弁者を決めること ・文書に残すことで、代弁者を守るようになること ・本人の権利を守るためでもあり、自分らしい生き方を貫くために活用してください
尾道市	啓発	R4.9.8	尾道市役所 二階会議室	第一区民生委員 高齢者福祉推進部会	15									●	●			【内容】 ・ACP紙芝居(北部包括作成) ・ACP私の心づもりパンフレット説明・配布 ・自分ノート配布説明 【気づき】 ・明日から家族と話そうと思う。 ・自分ノートがダウンロードがPDFのみだと記載できない。 ・尊厳死宣言・人工呼吸器や延命治療など知識ナイトかけないと思った。 ・寺(戒名やお経など)は本人が生前希望していたかがわからないと困る。
尾道市	啓発	R4.9.13	利用者宅	—	1									●				・ACP私の心づもりパンフレット説明・配布 ・パンフレットをもとに本人の希望を一緒に確認。 ・今後のことを家族と話そうと思うという気持ちにつながった。
尾道市	啓発	R5.1.11	尾道福祉専門学校	—	30	●	●	●										ACPについて学生向けに説明。 厚生労働省の配信している動画・心づもり・自分ノート紹介。 ACPを聞いたことがないという学生がほとんどだったため参考になったという意見が多かった。
尾道市	啓発	R4.5.9	いきいきサロン西藤	森実のつどい	9									●	●			【内容】 ・ACPの紙芝居を用いて、もしもの時のために元気な時から自分の医療や介護等のことを家族や医療者等と話し合っ、伝えておくことが重要だと伝えた。また「ACPの手引き～私のこころづもり～」の記載、尾道市版エンディングノート「自分ノート」の説明を行った。 【気づき】 ・感想や体験談として「必要なことを1枚の紙に書いて1部仏壇に保管、1部は持ち歩くようにしている友人がいる。」「父親が入院した時に、孫が連絡等きちんとしてくれた。」「祖母が亡くなった時、遺影写真や枕経、立飯についての希望をしっかりとノートに残しておいてくれたおかげで、希望に沿ったことができた。」などの声があった。 ・質疑応答では延命治療はどのようなものか、施設に入りたいときはどうすればよいかなどが挙がった。

令和4年度 広島県ACP普及推進員活動報告

市町名	活動区分	実施日	場所	対象者										内容等				
				集会(会合)名称	人数	年代												
						20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上					
尾道市	啓発	R4.8.19	いきいきサロン満越	満越クラブ	13													・ACP紙芝居「ACPの手引き～私の心づもり～(もしもの時に慌てないために)」 ・ACPの手引きの説明、記入 ・自分ノートの説明 【質疑応答・体験談・記入してみたの感想】 ・「こういったものを書いておきたかった。考えていることが、選択肢の中にあったので選べた。」「自分で自分のことが出来るうちは家、できなくなったら施設に入所することを考えている。」「自分の思いを身内や親しい友人に分かってもらえるから、書いておくことが大切」などの感想が聞かれた。 ・体験談として、「妻が入院中にノートに「葬式は家族葬にしてほしい」と書いてあったのを、妻が亡くなり、葬儀が終わったあとに見つけた。本人はどういう思いで書いたのか、今となっては分からないが、きちんと話をしていればよかった。」「娘と一緒に住んでいるため、葬式などについての話はよくしている」などの声があった。
尾道市	啓発	R4.9.7	東部公民館	鶴羽会	13													・ACP紙芝居「ACPの手引き～私の心づもり～(もしもの時に慌てないために)」 ・ACPの手引きの説明、記入 ・自分ノートの説明 ・質疑応答・体験談・記入してみたの感想 法的な効力があるのか知りたかったというご意見があり、また遺言書を準備しているという方もおられた。エンディングノートまでは記入してなくても、日頃の会話で家族と延命治療やお墓などACPIに関する話をしたことがある方は全体の8割程度であった。
尾道市	啓発	R4.9.13	東部公民館 南分館	高須男性サロン	12													・ACP紙芝居「ACPの手引き～私の心づもり～(もしもの時に慌てないために)」 ・ACPの手引きの説明、記入 ・自分ノートの説明 ・質疑応答・体験談・記入してみたの感想 「まだ先のことと思ってる」「病気になるなら考える」 自分の要望(葬儀や納骨場所、相続について)娘から聞かれるので話している 臓器提供について年齢制限が記載されていないが何歳でも可能なのかとの質問があった。
尾道市	啓発	R4.9.29	ZOOM開催 東部地域包括支援センター	ACP研修会	47													・ACP紙芝居「ACPの手引き～私の心づもり～(もしもの時に慌てないために)」の内容や、今年度実施したACP普及啓発活動の写真・各サロン等で出た質問や体験談などをまとめたパワーポイントを10分間で発表した。
尾道市	啓発	R4.7.8	いきいきサロン吉浦	吉浦さくらクラブ	26													・ACPの手引き「豊かな人生とともに」～私の心づもり～をもとに、アドバンスケアプランニングとは何か、実施することの利点や必要性、ステップ1～5の手順の説明を行う。また、人生会議を実施することは、自分らしい人生を全うすることだけでなく、もしもの時代弁者となる家族の混乱や迷いを軽減させることにも繋がることを説明する。 ・今後の人生についての希望や思いについて書き留めておけるツールとして、尾道市内の地域包括支援センターが作成した「自分ノート」を配布し、紹介する。自分が家族や信頼している人に、大切なことを伝えられなくなった時に備えて、記入しておいてもらうよう啓発を行う。 ・実際に私の心づもりや自分ノートを記入していただいた。この機会に実際に記入してもらうことで、もしもの時のことを考えるきっかけ作りになった。
尾道市	啓発	R4.7.21	高頭公民館	高頭ふれあいサロン	11													・ACPの手引き「豊かな人生とともに」～私の心づもり～をもとに、アドバンスケアプランニングとは何か、実施することの利点や必要性、ステップ1～5の手順の説明を行う。また、人生会議を実施することは、自分らしい人生を全うすることだけでなく、もしもの時代弁者となる家族の混乱や迷いを軽減させることにも繋がることを説明する。 ・今後の人生についての希望や思いについて書き留めておけるツールとして、尾道市内の地域包括支援センターが作成した「自分ノート」を配布し、紹介する。自分が家族や信頼している人に、大切なことを伝えられなくなった時に備えて、記入しておいてもらうよう啓発を行う。 ・参加者よりACPの話聞いて、普段はなかなか将来について考える機会がないので、改めて考えるきっかけになったのでよかった。今後のことについての勉強になったとの声をいただいた。
尾道市	啓発	R5.2.17	栗原公民館	則末ふれあいサロン	25													同上
尾道市	啓発	R4.5.13	因島土生町 安郷区民館	サロン語ろう会	11													・リーフレット「ACPの手引き 豊かな人生とともに ～私の心づもり～アドバンスケアプランニング」を用いて、アドバンスケアプランニングの概要についてサロン参加者に説明。 ・参加者自身の体験を語っていただく事で、もしもの時に備えて自身が望む医療や介護について前もって考え、信頼できる人と繰り返し話し合い、共有する事の必要性について感じていただき、その上で「私の心づもり」に書かれている項目を一つずつ一緒に確認しながら、記入できる方はその場で実際に書き込んでもらい、ACPを実際に体感していただいた。 ・参加者から、「普段子どもとそのような話しはできていない」という話しをうかがった上で、「私の心づもり」に書かれている文章の意味が分かりにくい。「ここに書いても自分の希望通りになるとは限らない、子どもが好きなようにする。」「主治医からこのような話しをもらった事が無いし、非常勤医なのですぐに変わる」「元気な時と、体調が悪くなり内容が現実味を帯びた時の自身の心理状態は変わるので、元気な今書く事に疑問を感じる。」等の感想が寄せられた。
尾道市	啓発	R4.7.26	因島中庄町 因島西浦ふれあい館	サロン ポプラの会	4													・リーフレット「ACPの手引き 豊かな人生とともに ～私の心づもり～アドバンスケアプランニング」を用いて、アドバンスケアプランニングの概要についてサロン参加者に説明。 ・参加者自身の体験を語っていただく事で、もしもの時に備えて自身が望む医療や介護について前もって考え、信頼できる人と繰り返し話し合い、共有する事の必要性について感じていただき、その上で「私の心づもり」に書かれている項目を一つずつ一緒に確認しながら、記入できる方はその場で実際に書き込んでもらい、ACPを実際に体感していただいた。 ・参加者から、「普段子どもとそのような話しはできていない」という話しをうかがった上で、「私の心づもり」に書かれている文章の意味が分かりにくい。「ここに書いても自分の希望通りになるとは限らない、子どもが好きなようにする。」「主治医からこのような話しをもらった事が無いし、非常勤医なのですぐに変わる」「元気な時と、体調が悪くなり内容が現実味を帯びた時の自身の心理状態は変わるので、元気な今書く事に疑問を感じる。」等の感想が寄せられた。
尾道市	啓発	R5.2.15	因島椋浦町 いきいきサロン椋浦	サロン椋浦	11													・リーフレット「ACPの手引き 豊かな人生とともに ～私の心づもり～アドバンスケアプランニング」を用いて、アドバンスケアプランニングの概要についてサロン参加者に説明。 ・サロン参加者に、私自身が家族について医療機関からACPを求められた体験を語り、本人と家族が事前に話しができていたことが家族の負担につながり、そのことがまさにACPの実践である事を伝えた。 その上で「私の心づもり」に書かれている項目を一つずつ一緒に確認しながら、記入できる方はその場で実際に書き込んでもらい、ACPを実際に体感していただいた。 ・当該サロンの参加者からは、現実問題として考えたくない、そのような話しを子どもは聞きたくないかもしれないという意見や、今日をきっかけに今後このような事を考えてみる事も意識してみたいという多様な意見がみられた。

令和4年度 広島県ACP普及推進員活動報告

市町名	活動区分	実施日	場所	対象者										内容等			
				集会(会合)名称	人数	年代											
						20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上				
尾道市	啓発	R4.6.15	才原なごみ館	ふれ愛サロンふじい川	28								●	●	●	●	・サロン依頼のテーマが終活・ACPだがあまり暗い沈んだ感じにはしたくないので明るく楽しくというご要望があった ・2018年県地对協の人生会議のポスターになった、元プロ野球選手達川光男さんに包括職員がなり切って「人生会議を家族で話し合っておくことが大切」と導入をし、和やかな雰囲気づくりに心がけた ・北部包括で手作りした紙芝居「花子さんの場合…」 紙芝居の中で最期はこうしたいと決めていたのに誰にも伝えておらず、きちんと残しておけばよかった…と悔やむ、そして残しておくにはどうしたらよかったのかと皆さんに投げかけた ・ACPの手引き「豊かな人生とともに」～私の心づもり～をもとに、アドバンスケアプランニングの説明を行った ・尾道市作成の自分ノートも配布し説明を行い質疑応答を行った。
尾道市	啓発	R4.7.26	市公民館	にこにこサロン	16								●	●	●	●	・隔月定例で訪問して「何でも相談会」や情報提供をさせてもらっている常設サロンへ今回はACP(終活)というテーマでお話し情報提供した。 ・尾道市の包括支援センターが作成した「自分ノート」を1冊ずつ配布し中身についてお話し質疑応答した。 ・終活の中でも医療の分野をイメージしてもらったため、紙芝居「花子さんの場合…」を聴いてもらい意見をいただいた。「まだ具体的にイメージがつかない」と言われる方や「もう自分は献体を大学に申し込んでいる」という方までいろいろな意見が出た。
尾道市	啓発	R4.8.9	いきいきサロン三成	三成なかよしサロン	17									●	●	●	・昨年のACPの話に続いて、尾道版エンディングノートの「自分ノート」について説明 ・「自分ノート」の使い方、紙芝居の花子さんの場合を思い浮かべながら、ひとつずつ一緒に考えていった。 ・記入する際の注意点や、どのように保管したり周りの人と話したらよいかをみんなで意見を出し合った。
尾道市	その他	R4.10.11	いきいきサロン三成	三成なかよしサロン	16									●	●	●	・昨年サロンでACPの話をしていただいて、その話を聞いて、どのように感じたか、その後でACPの話や家族や誰かと話をしたか、「豊かな人生とともに」や「自分ノート」を記入してみたか等をアンケート調査を行った思い出してもらったため紙芝居や「自分ノート」について簡単に説明、ひとりずつ記入をさせていただき回収をした。 ・回収した結果は分析し振り返りを行って、今後の活動に役立てていきたい。
尾道市	その他	R4.10.12	いきいきサロン小原	ふれあいサロン小原	22									●	●	●	同上
尾道市	その他	R4.10.14	旧木ノ庄西小学校	木ノ庄西上中サロン	17									●	●	●	同上
尾道市	その他	R4.10.18	市公民館	にこにこサロン	12									●	●	●	同上
尾道市	その他	R4.10.19	白江公民館	ふれ愛サロンふじい川	13									●	●	●	同上
尾道市	その他	R5.2.4	公立みつぎ総合病院 5階講義室	公立みつぎ総合病院 院内学会	30~40 (コロナ感染対策の 為)								●	●	●	●	【研究発表】 ・「ACP普及啓発の取組み～事後アンケートを実施して～」というテーマで院内学会発表した。 ・ACP普及推進員の活動や、普及啓発を行ったサロンにアンケート調査を実施しその結果をまとめた。ACPの話聞いた後に、家族や友人と話をした人は98%だったが、そのうち記録に残したのは15%だった。どんな時に話し合おうと思うかでは、介護や病気になった時が多かった。 ・また、昨年ACPの実施で関わる事が出来たひとつの事例についての振り返りもまとめ、研究発表を行った。 ・活動を振り返り、院内の多職種にもACPIについての取組みを周知する機軸となった。
尾道市	啓発	R4.8.9	古江浜公民館	古江浜サロン	7									●	●	●	・認知症の話とコグニサイズ、終活の話の希望があり、20分程度ACPIについて話した。リーフレットを手にしてもらい、挟んである白い紙と黄色い紙について説明をしたうえで、パンフレットの内容に触れた。時間的に記入してもらうのは難しかったので、特に下記2点を強調して終えた。 ・私のころづもりは1回書いて終わりではなく何度でも書き直してよいものである。 ・まずは自分がどうしたいのか考えてみた上で、日常生活の中で自然な形で自分の考えを伝えていく事が大切。
尾道市	啓発	R4.9.8	彦ノ上三区公民館	ふれあいサロン彦ノ上三区	16									●	●	●	・終活の話の希望があり、20分程度ACPIについて話した。リーフレットを手にしてもらい、挟んである白い紙と黄色い紙について説明をしたうえで、パンフレットの内容に触れた。時間的に記入してもらうのは難しかったので、特に下記2点を強調して終えた。 ・私のころづもりは1回書いて終わりではなく何度でも書き直してよいものである。 ・まずは自分がどうしたいのか考えてみた上で、日常生活の中で自然な形で自分の考えを伝えていく事が大切。
尾道市	啓発	R4.10.17	岩子島 すずめのお宿	オレンジカフェ これから	20									●	●	●	・オレンジカフェで、ゲストとして訪問看護ステーションむかいしまの管理者高垣氏を招き「在宅看護について」の講義をしていただいた際、講義終了後補足的にACPIについてリーフレットを用いて説明し事前に要望のあった自分ノートも配布した。 ・時間に制限があったため下記を重点的に伝えた。 ・私の心づもりを書く前に、思いを伝えたい相手と話すことが大切。 ・記入して終わりではなく、何度でも書き換えて良いものがある。
尾道市	啓発	R4.11.8	歌公民館	ふれあいサロン歌	31									●	●	●	・20分程度ACPIについて話した。リーフレットを手にしてもらい、挟んである白い紙と黄色い紙について説明をしたうえで、パンフレットの内容に触れ、特に下記を強調して終えた。ACPを知っている人は今回も一人もいなかった。 ・私のころづもりは1回書いて終わりではなく何度でも書き直してよいものである。 ・まずは自分がどうしたいのか考えてみた上で、日常生活の中で自然な形で自分の考えを伝えていく事が大切。 ・記録より記憶に残せばなお良い。
尾道市	その他	R4.8.27	岡山コンベンションセンター(Web開催)	第4回日本緩和医療学会 中国・四国支部大会	不明												・第4回日本緩和医療学会 中国・四国支部大会で「身寄りのない生活保護受給がん患者のアドバンスケアプランニング」という題名で活動報告を行った。 ・実際に介入した症例を振り返ることで、地域の人と一緒にACPを行う事のメリットを知ることができた。また、ACP介入後に病棟のスタッフと一緒に行った意思決定支援についても振り返り、フィードバックすることでACPや意思決定支援についての知識を深める機会になったのではないかと考える。
尾道市	その他	毎週火曜日	尾道市立市民病院 入院病棟	緩和ケアチームラウンド	30									●	●	●	【緩和ケアチームラウンドでのACPIに係る看護計画等の見直し】 ・入院患者全員に「あなたの希望や思い」を配布する(入院の都度、提出は任意) ・終末期入院患者で「あなたの希望や思い」の記載がない場合には、本人もしくは家族に記載してもらう ・循環器内科の外来患者は、予後1年程度と見込まれたら「あなたの希望や思い」を記載してもらう ・がん薬物療法患者は、レジメン変更やBSC移行時に「共に治療について考えていくための質問紙」を記載してもらう ・毎週火曜日の緩和ケアチームラウンド時に、緩和ケアチームスタッフと病棟看護師で入院患者のカンファレンスや看護計画の見直しを行う

令和4年度 広島県ACP普及推進員活動報告

市町名	活動区分	実施日	場所	対象者										内容等				
				集会(会合)名称	人数	年代												
						20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上					
尾道市	実施	R4.11.18	自宅	ケアマネジャー(介護認定前の暫定)	1													緩和ケア外来と協力しながら、在宅医療への移行を考える過程でACPの話をさせていただいた。ACPの手引き「私の心づもり」を活用し、ご本人の希望や思いについて聞き取ることができた。ただし関係者で共有する前に転倒骨折で入院しそのまま亡くなられたため、思いを息子さんと共有出来たのは亡くなられた後であった。
尾道市	実施	R4.4	JA尾道総合病院緩和ケア外来	患者	1										●		推進委員である看護師が事前カウンセリングで患者の思いを確認し、病棟スタッフと不安を軽減や患者の思いを叶えるためのケアを検討した。MSWと相談し、社会的背景を考慮すると病院スタッフだけでなく地域包括支援センターのスタッフ・役所の担当者が同席の上ACPが実施できるよう調整したほうが患者のメリットが高いと判断し、緩和ケア外来受診調整を行った。	
尾道市	実施	R4.4～	JA尾道総合病院緩和ケアセンター	—	—												緩和ケアセンターに受診するがん患者とその家族に対し、がん患者のADL曲線を用い、今後予測される変化について説明を行い終末期の療養先について話し合いを行っている。各患者の希望に沿って、療養先で療養ができるように病診連携、病病連携を行っている。	
福山市	啓発	R4.4.28	山陽病院5階会議室	事業本部会議(勉強会)	18			●	●	●	●						・「ACP(人生会議)を知ろう」というテーマに、医療の現場だけの話ではなく、本部職員もある程度の知識は必要であるという観点から院内の本部職員を対象に開催。 ・「私の心づもり」も時間が経つと思いも変わっていくこと、年齢によっても、考えが違ふ事も実感してもらった。 ・今の自分の気持ちを書いてみる事、また配偶者、両親など身近な人と語り合う事から始めてもらうよう伝えた。 ・医療の現場でのACPのとらえ方と、そうでない場との違いもあるが、いつ命の危機が迫るか分からないことを想定し、まずは考えてもらう事から始めてもらった。 ・今回は、「知る」をテーマとしましたので、次回は少し深めた内容にしていきたい。	
海田町	啓発	R4.6.22	中野西集会所	下川原地サロン研修会「アドバンスケアプランニング(ACP)について」	15						●	●	●			【内容】 ・ACPってどんなこと。私の心づもりを書いてもらう 【気づき】 ・対象者の方より、実体験の話が数人あり、その話を通してACPの大切さを伝えることができた。 ・用紙に記入となるとなかなか書きづらい方もおられるが、言葉に出して話すことはできていた。自分の言葉をそのまま記入してもOKであると助言を行った。		
海田町	啓発	R4.7.20	中野西集会所	松ヶ崎いきいきサロン「アドバンスケアプランニング(ACP)について」	15～16									●	●	【内容】 ・ACPについて紹介 ・一緒にACP記入用紙に私の心づもりを記入 【気づき】 ・ACPについて初めて知ったという方がほとんどであった。 ・元氣なうちから考えておく事も大事であるを知っていただけた。		
海田町	啓発	R4.4.12	ケアハウス安芸中野	健康大学住民講座 住民向けACP研修会	50						●	●	●	●		・「ACPの手引き豊かな人生とともに～私の心づもり～」を使用し、基本的な内容と事例を紹介した。 ・安芸地区は2014年のモデル事業から地域の皆様に実施してきたが、今回初めて聞かれる方ばかりであった。(一人だけ1回聞いたことがある) まだまだ、普及啓発の必要性を感じた。		
海田町	啓発	R4.9.21	畑賀福祉センター2階 ホール	畑賀地区社会福祉協議会 はたか健康塾実行委員会 広島市瀬野川・船越地域包括支援センター	50									●	●	●	同上	
海田町	啓発	R4.9.28	ZOOM開催 安芸地区医師会居宅介護支援事業所	広島県介護支援専門員協会 海田町・坂町ブロック会	16						●	●	●			・ACPの基本的な考え方の理解と実践的な能力を身につけることが研修目的のため、住民の方に説明している「ACPの手引き豊かな人生とともに～私の心づもり～」を使用し、基本的な内容と事例を紹介した。 ・実践的な能力については、広島県地域保健対策協議会の専門職向け標準教材～支援者の心得～などを用いた。 今後は、標準教材を広めていく必要があるのではないかと考える。		
坂町	啓発	R4.7.5	在宅介護支援事業所 さいせい	事業所内ミーティング	8			●	●	●						【内容】 ・動画を視聴し、ACPの聞き方等について学んだ。 【気づき】 ・ACPを聞くタイミングや聞き方に迷う事が多い。ACPのパンフレットでは、治療の事もきくので聞きにくさを感じることもあるが、その方の生活歴や生き方等に焦点をあてると聞きやすい。		
坂町	啓発	R4.11.24	小屋浦公営住宅集会所	百歳体操	11									●	●	・地対協作成のDVD「豊かな人生とともに～もしもの時のために伝えておきたいこと～」、ACPの手引き、私の心づもりを使用し、百歳体操参加者(地域住民)に向けてACPの紹介を行った。 ・ACPについて初めて聞く方もいれば、手引きは使用せずともすでに家族と話し合い自宅の分かりやすい場所に自身の意向を紙に記載しているという方もおられた。 ・普及推進員からの説明・DVD鑑賞後に参加者同士で話し合う場面が見られた。「なかなか考えることや家族と話をすることはなかったけど、この機会に話をしてみよう」「近所で万が一の時につたえられるといいね」等の前向きな声が聞かれた。百歳体操不参加の「友人にも私の心づもりを配ってみよう」と持って帰られる方もおられた。		
坂町	啓発	R4.10.24	たかね荘こやうら3階 地域交流ホール	百歳体操会	14						●	●	●			・地対協作成のDVD「豊かな人生とともに～もしもの時のために伝えておきたいこと～」、ACPの手引き、私の心づもりを使用し、百歳体操参加者(地域住民)に向けてACPの紹介を行った。 ・参加者からは、「初めて聞いた」「ACPという言葉は聞いたことはあるけど何の事が分からなかった」との意見が大多数であったが、受講後は「パンフレットを持ち帰って家族と話してみたい」等の感想が聞かれた。		
神石高原町	啓発	R4.6.15(父木野) R4.7.19(仙養) R4.7.21(古川) R4.8.3(東油木) R4.8.30(丸山) R4.9.15(豊松) R4.9.21(西油木)	各集会所	サロン 老人会 いきいき百歳体操 民生委員会	63			●	●	●	●	●	●			・地対協作成のDVD「豊かな人生とともに～もしもの時のために伝えておきたいこと～」、ACPの手引き、私の心づもりを使用し、百歳体操参加者(地域住民)に向けてACPの紹介を行った。 ・参加者からは、「初めて聞いた」「ACPという言葉は聞いたことはあるけど何の事が分からなかった」との意見が大多数であったが、受講後は「パンフレットを持ち帰って家族と話してみたい」等の感想が聞かれた。		
呉市	啓発	R4.5.28	ふたばハイツII	ACPの勉強会	15			●	●	●	●	●	●		●	・サービス付き高齢者向け住宅職員と勉強会を開催した。 ・看護師、介護士を対象に事例を通して、ACPについて考える。 ・職種を問わず、地域で連携をとる必要性について伝えた。		
呉市	啓発	R4.6.17	大宇根内科呼吸器科クリニック	酸素療法とACPを考える	21			●	●	●	●	●	●			・在宅酸素療法についての地域を看護師、介護士と共に学ぶ。 ・施設で酸素療法を行いながら入所される方への理解も深まり、施設側の受け入れもスムーズに行えるようになると思われる。 ・ACPを考えるについて参考になったとの意見あり。		
呉市	啓発	R4.6.25	ほほえみ有料老人ホーム広国際通り	ACPの勉強会	15			●	●	●	●	●	●			【内容】 ・有料老人ホームの職員と勉強会を開催した。 ・事例を通してACPについて考える。 【気づき】 ・地域包括システムを構築させるためには、職種間の連携が必要で自分たち一人一人の役割が大切であることを再認識した。		

令和4年度 広島県ACP普及推進員活動報告

市町名	活動区分	実施日	場所	対象者										内容等			
				集会(会合)名称	人数	年代											
						20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上				
呉市	啓発	R4.6.11	二川まちづくりセンター	健康教育	13										●	●	【内容】 ・健康教育事業 生活相談 【気づき】 ・生活相談を行うときにACPについての説明を行った。 ・「人生の彩ノート」を使用し「私の心づもり」の書き方や保管方法について説明した。 ・個別相談を行い、心配事を聞きながら話をする事で、理解を得られた。
呉市	啓発	R4.6.15	広島県呉警察署 4階講堂	広島県呉警察署 生活安全課	32		●	●	●								・認知症サポーター養成講座と一緒にACPについて説明を行った。 ・高齢になっても本人の意向を尊重しつつ地域で過ごす取り組みについて説明をした。 ・「人生の彩ノート」を使用し「私の心づもり」の書き方や保管方法について説明した。
呉市	啓発	R4.6.15	介護予防教室	上和会サロン	19									●	●	●	・ACPについて説明を行った。 ・「人生の彩ノート」を使用し「私の心づもり」の書き方や保管方法について説明した。 ・初めて聞いた。このような良い取り組みがあることをもう少し広報をした方が良いのでは？との助言もいただいた。
呉市	啓発	R4.10.13	呉市役所 7階	呉市役所監督者研修	27					●	●						・ACPについて説明を行った。 ・「人生の彩ノート」を使用し「私の心づもり」の書き方や保管方法について説明した。 ・認知症サポーター養成講座の後の、親御さんに「もしもの事があった場合どのように対応すればよいのか」など具体例を挙げながら話を行った。年齢的にも実感される人もいたようで、「両親と話しておきます」などの声も聞かれた。 ・「人生の彩ノート」をご両親の物も欲しいと希望される人もいたため、次回からは準備も含めて持参するようにした。
呉市	啓発	R4.12.1	呉市役所 7階	呉市役所監督者研修	24					●	●						・ACP(呉市彩ノート)について説明を行った。 ・認知症サポーター養成講座の後の、親御さんに「もしもの事があった場合どのように対応すればよいのか」など具体例を挙げながら話を行った。 ・ACPについて聞きなじみがない様子だったため、事前に本人らの意向を聞き、家族と共有する事でこれからどのように生きていくかを確認する重要性について説明した。 ・「私の心づもり」の書き方や保管方法についての説明もした。
呉市	啓発	R4.12.8	呉市役所 7階	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院看護専門学校	36	●	●			●							・ACP(呉市彩ノート)について説明を行った。 ・「地域と暮らし」という授業の一環として認知症サポーター養成講座を行い、その後、看護師として患者・家族への支援を行うにあたりという場面をイメージしながら具体例を挙げながら話を行った。 ・ACPという言葉が初めて聞くという事だったため、事前に本人らの意向を聞き、家族と共有する事でこれからどのように生きていくかを確認する大切な物であることを説明した。 ・「私の心づもり」の書き方や保管方法についての説明もした。
呉市	啓発	R4.12.10	中国労働金庫呉支店 3階会議室	呉地区労働者福祉協議会	27		●	●	●	●	●						・ACP(呉市彩ノート)について説明を行った。 ・ACPという言葉が初めて聞くという事だったため、事前に本人らの意向を聞き、家族と共有する事でこれからどのように生きていくかを確認する大切な物であることを説明した。 ACP(呉市彩ノート)は、本人の趣味や嗜好、価値観などを聞き取り、共有する事の重要性についても説明を行った。年末年始が近づいているため、家族とまずは話してみる事を提案した。 ・保管方法についての説明もした。
呉市	啓発	R4.12.15	郷原まちづくりセンター	郷原サロン	120									●	●	●	【内容】 「人生会議(ACP)～これからの豊かな人生を目指して一緒に考えましょう!～」と題して資料とパワーポイントを利用し講義形式で行った。 ・人生会議の進め方について ・私の心づもりの活用について ・ご自分の人生の振り返りとして、呉市「人生の彩ノート」を紹介。 【気づき】 ACP(人生会議)という言葉を知らない人がほとんどであった。 参加人数が多く、反応が分かり難かったが、講義終了後に「私の心づもり」「人生の彩ノート」を百歳体操の場でも配りたいというグループリーダーが数名いらっしゃり、必要性は感じて頂けたのではないかと思います。
呉市	啓発	R4.12.24	ふたばの街	コロナ感染症とACP	25		●	●	●	●	●						・コロナ感染症について学習する。 ・コロナウイルスについて正しく理解することで、施設入居者さんにACPに基づき最期まで安心して生活ができるよう、自分たちの役割について考えることが出来た。 ・今後の感染対策についても重要性を理解することができた。
呉市	啓発	R5.2.25	ほほえみ有料老人ホーム 広国際通り	コロナ感染症とACP	10		●	●	●	●	●						【内容】 有料老人ホームの看護師、介護士と勉強会を開催した。コロナ感染症について学習する。 【気づき】 コロナウイルスについて正しく理解することで、入居者さんのACPに基づき最期まで安心して生活ができるよう自分たちの役割について考えることが出来た。今後の感染対策についても重要性を理解することが出来た。
呉市	啓発	R5.3.16	呉市広まちづくりセンター	癌性疼痛とACP	41		●	●	●	●	●						癌性疼痛について医療スタッフ・介護スタッフと共に学習する。 施設入居者の癌末期の方や、癌性疼痛についての理解を得ることで施設での看取りに取り組みの一助となった。